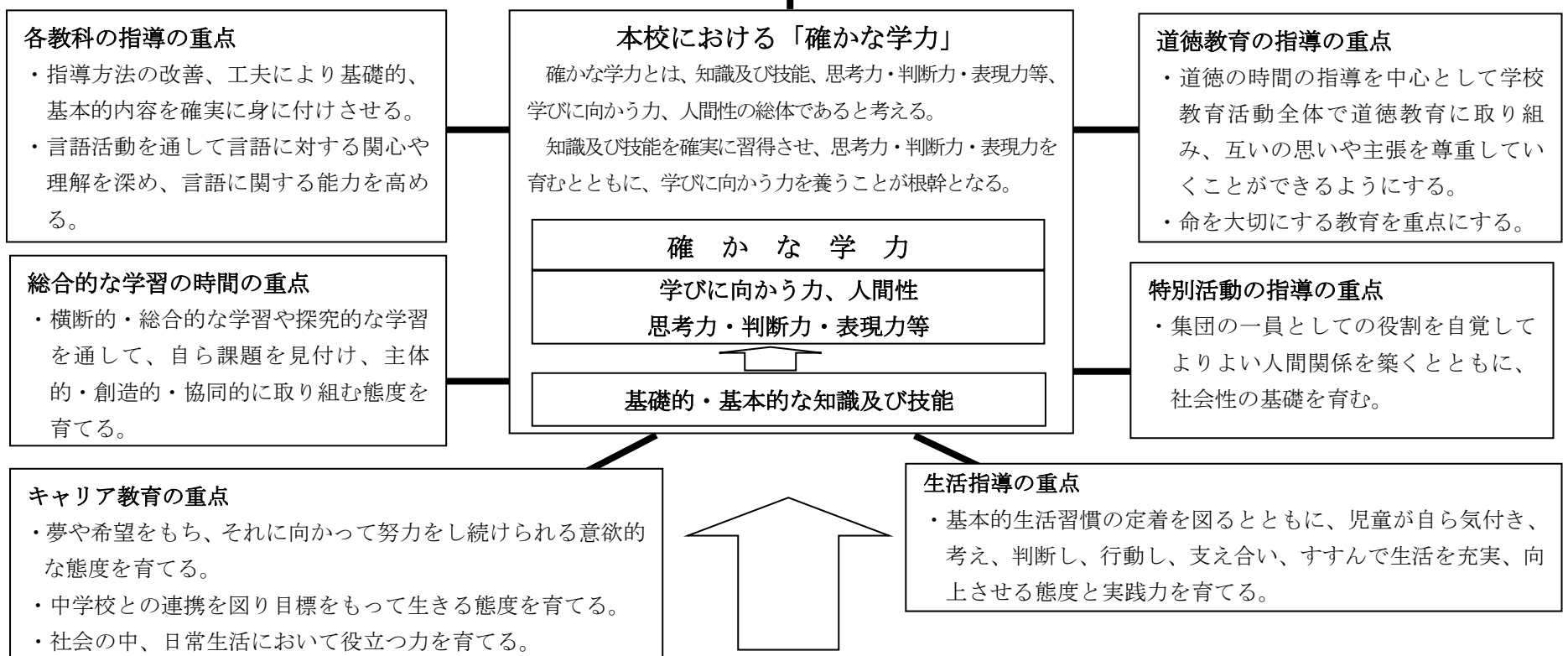
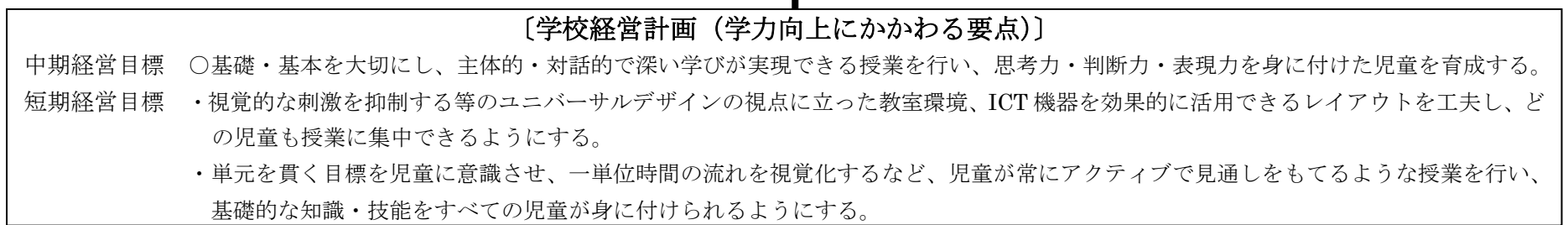
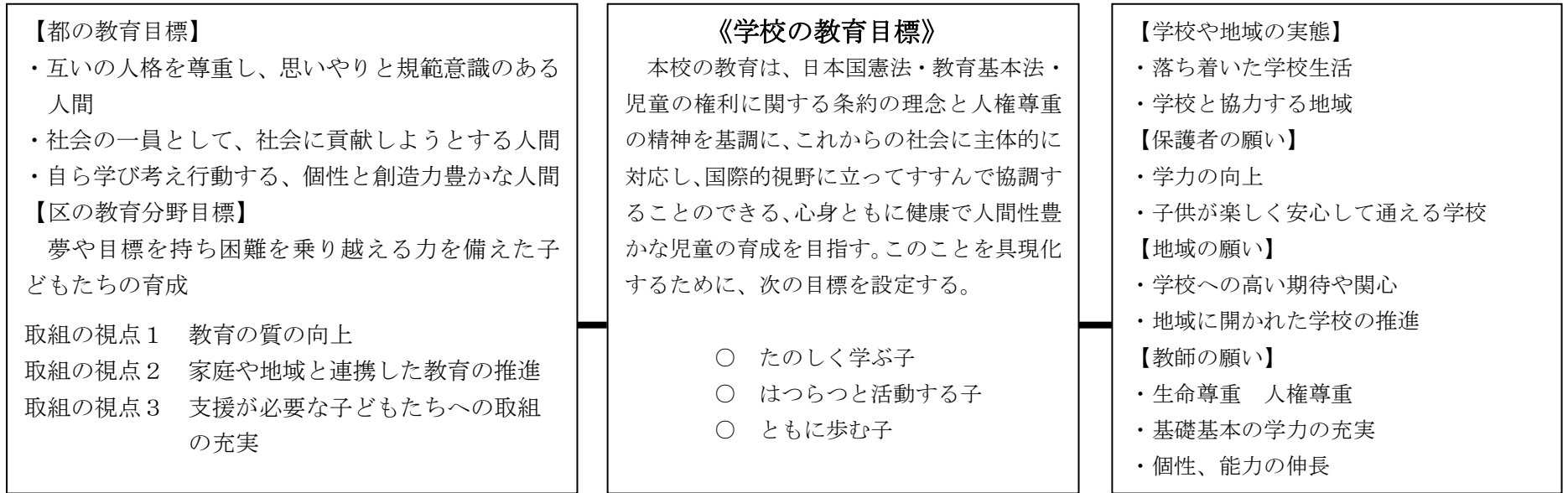


令和6年度 学力向上を図るための全体計画



本校の改善策		
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決、体験活動を取り入れた学習の重視 ・課題解決、習熟度別学習を取り入れたチーム・ティーチング、少人数指導の推進 ・自力解決学習と学習感想の重視 ・各教科における言語活動の重視 ・東京ベーシック・ドリルの活用 ・ICT機器の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材等の積極的活用 ・朝読書、教員による読み聞かせ、図書館員によるブックトーク等の読書活動の実践 ・週に一度、朝15分間の自主学習の実践 ・学期1回の学校生活アンケートの実施 ・児童・保護者アンケート、学校関係者評価を生かした教育課程の編入 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の授業研究を通しての授業力の向上 ・キャリアプラン等に基づく自主的・自発的研修の活性化 ・教材研究の重視 ・校内OJTの実施 ・教員同士の授業公開の実施 ・教職員全体の服務研修
評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを見付け、よさを伸ばすことで他の力を伸ばす評価計画、評価規準、評価基準の作成等による指導と評価の一体化 ・自己評価、相互評価の活用 ・積極的な教職員同士の情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立（朝食・睡眠等） ・「早寝・早起き・朝ごはん」の運動の推進 ・家庭学習や宿題等の工夫 ・地域の教育力の活用（地域未来塾） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの研究部会での小中一貫教育の研究実践 ・課題改善カリキュラムの作成 ・校区别協議会での協議内容を授業改善に活用 ・校内での挨拶運動

授業改善策の検証方法	
<ul style="list-style-type: none"> ○東京都や国による学力調査の結果と授業改善推進プランとのPDCAサイクルによる検証 ○小中一貫教育グループによる課題改善カリキュラムと校区别協議会でのPDCAサイクルによる検証 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシック・ドリルによる検証 ○学校評価による検証